

サタンの試みに遭われたイエス様(ルカ 4:1-13)

信者なのに肉体的ないろいろな条件が不利なとき、無気力になる場合があります。また、環境があまりにも険しいので、世の流れの勢いに吞まれて、それにひざまずいて、無気力になる場合があります。それでついそうならざるを得ないのではないかと言いますが、実はその人が信者であれば、その人の信者としてのアイデンティティが薄れているから無気力になってしまうものであります。なので、信者の私たちがそういったさまざまなものにひざまずかずに打ち勝って勝利するためには、アイデンティティを回復しなければなりません。どのようにして信者としてのアイデンティティを回復することができるのでしょうか。今日の聖書の箇所は、イエス様が 40 日間断食をしながら、悪魔、サタンに誘惑される場面です。悪巧み、巧妙にイエス様に試みを与えました。けれどもイエス様は、みことばをもって見事に悪魔を退治し勝利なさったという内容の箇所です。マタイ 4:1 を見ますと、イエス様がわざわざサタンに試みられるために荒野に出て行かれて、40 日間断食をされたと書いてあります。今日は、悪魔の試み、誘惑の内容について細かく言うつもりはありません。結局は神様を忘れるように、神様を疑うように、結局神様を離れてしまうようにというのがサタンの誘惑の内容であり、今もその内容は変わりはありません。しかし、そのような巧妙なサタンの試みに遭われて、その誘惑に打ち勝って勝利なさったということは、私たちのアイデンティティとどういう関係があるのかということを考えていきたいと願います。

1. イエス様はアダムの失敗をすべて終わらせた最後のアダム、キリストである。(I コリント 15:45)

まず第一に、イエス様が悪魔の試みに遭われて打ち勝ったということは、イエス様はアダムの失敗をすべて終わらせた最後のアダム、キリストに間違いのないという宣言なのです。

I コリント 15:45 を見ますと、「最初の人アダムは生きるものとなった」と書いてありますが、最後のアダムは生かす御霊となりましたと、イエス様のことを最後のアダムと表現しています。それは最初の人アダムではない、そのアダムの失敗を全部終わらせたという意味がそこにはあるわけです。一番最初の人間アダムが悪魔に誘惑されて失敗した、ということをお願い起こしていただきたいと思えます。イエス様はアダムと違って誘惑に打ち勝たれた、つまりアダムではなくて、最後のアダム、キリストに間違いのないということが表明されました。

1) 人間のすべての失敗の始まりアダム

人間のすべての失敗の始まりはアダムからなのです。アダムは最初の人間なのです。

2) サタンの誘惑、罪、神様離れる(エペソ 2:1-3)

アダムは神のかたちに造られて、神様から祝福されたにもかかわらず、悪魔サタンに誘惑されて、それに見事に引かかって罪を犯してしまい、いのちの根源である神様を離れることになりました。その時からアダムをはじめ、人間はたましいが死んだ状態となります。たましいが死んだというのは、神様を知らない者になるわけですから、自分しか分からない、目に見えるものしか分かっていない、永遠の世界などとは無縁のこの世が中心になって人生を生きる者に変られたという意味なのです。それが神様を離れて悪魔の誘惑に負けて、たましいが死んでしまった人間のことなのです。だから当然、世の流れに従って偶像を拝むしかないし、宗教にのめり込んでシャーマンに頼るようになり、あらゆるイデオロギーや思想などに振り回されることとなります。それは実は偶像や宗教、シャーマン、思想、イデオロギーではなくて、空中の権威を持つ支配者、悪魔サタンが作り出したものなので、それに従う、それに流されるということは悪魔に従うこととなります。そうならざるを得ない枠にはめられることになりました。悪魔の誘惑に負けて神様を離れる罪を犯した人間は、そのような状態になってしまいました。なので、生まれながら神の御怒りを受けるしかない子どもとして生まれて、滅びの運命を辿ることとなります。だから霊的な問題、精神的な問題、病を抱えて煩うようになり、さまざまな人間関係の問題や人生があらゆるところから崩壊していくようになるし、最終的にはむなしく人生が終わって、人間には一度死ぬことと、死後にはさばきを受けることが定まっている、滅びの運命の中を辿ることとなります。それがサタンの誘惑に負けてしまっ

たアダムとアダムの子孫にある者になりました。

3) すべての人はアダムの子孫(ローマ 3:23)-アダムの遺産(DNA)、アダムのやぐら

そして、このような滅びの運命というものが、アダム以来のすべての人類に当てはまることになりました。ローマ 3:23 にも、すべての人は罪を犯して、神からの栄誉を受けることができない。つまり、すべての人は、アダムの子孫として生まれることとなります。アダムの子孫として生まれるので、アダムからの遺産を受け継ぐこととなります。つまり、アダムの霊的な DNA がそのまま受け継がれることとなります。誰がでしょうか。アダム以来のすべての人類は同じ状態になってしまいました、だから、アダムの子孫なのです。先ほど申し上げました滅びの運命のアダムの相続を全部受け継いで、それがその人のやぐらとなり、その人内側に崩れることのない家を建てることになってしまいます。その状態でみな人生を生きることになりました。なので、いくらもがいて頑張っても、この運命からは逃れることができません。これがアダムの失敗、またその結果というものなのです。

4) イエスにあって、アダムの子孫に終止符-ローマ 8:2、15、29、マルコ 3:36、ヘブル 2:9-11、エペソ 2:19、エペソ 1:11、14

イエス様が悪魔サタンの試みに遭われて、しかもわざわざ出向いてそれに打ち勝ったということは、このイエス・キリストにあって誰でもアダムの子孫に終止符を打つことになるよと。イエス・キリストを信じる人は、アダムの子孫の人生がもう終わりになる。アダムの子孫でなくなりますという宣言なのです。だから誰でもなのです。イエス・キリストを信じる人は、一番最初の人間アダムを倒してしまった悪魔の誘惑に打ち勝ったそのキリストであるイエス様を信じる人は、いのちと御霊の原理によって、死と罪の原理から解放されることとなります。その人はアダムの子孫ではなくて、神様を「アバ、父」と呼ぶことができる神の霊が宿るものになります。ローマ 8:29 には「神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです」。アダムの子孫ではなくてイエス・キリストの兄弟となるわけです。このようにその人の存在そのものが変えられて、運命が変えられることとなります。アダムから受け継いでいた滅びの相続、それがやぐらになってその運命に振り回されるしかなかったその相続も終わりなのです。神からの相続を受け継ぐこととなります。御座のすべての祝福がその人の相続となり、三位一体の神様ご自身がその人の遺産となり相続となる、そういう存在に変えられることとなります。なぜそのように断言できるのでしょうか。イエス様が悪魔の誘惑に打ち勝って、最初の人間アダムのすべて失敗を全部ひっくり返したキリストだからです。私たちのどうのこうのとは全く関係ありません。教会に通ってイエス様を信じますと言いながら賛美をしているにもかかわらず、自分がどのように変えられて自分がどういう存在なのかということに気づいていないと、悪魔のやぐらはそのまま私たちを操ることになるわけです。だから一番大切なのはアイデンティティを回復することです。どこででしょうか。悪魔の誘惑に打ち勝ってアダムの失敗をすべて終わらせたそのキリスト・イエスにあって、自分のアイデンティティを回復しないといけません。そのことのためにイエス・キリストはわざわざ悪魔の誘惑に遭われるために出向いて荒野に出かけました。しかも 40 日間断食をされたわけです。マルコ 3:35 にもこう書いてあります。「だれでも神のみこころを行う人、その人がわたしの兄弟、姉妹、母なのです」と。神の御心を行う者ということは、イエス様をキリストとして信じるということなのです。そういう人は異邦人でも娼婦出身であれ、刑務所から出た人間であれ、精神的に患っている者であれ、今まで偶像に溺れていた人間であれ、全く関係なくわたしの兄弟、わたしの家族になるよとおっしゃいました。これが何を意味するのかよく考えてみてください。アダムの子孫がもう終わったと。アダムの子孫でなくなったのだよ。アダムから引き継いでいたそのすべては終わったのだよ。縁が切れたんだよという宣言なのです。ヘブル 2:11 にもこう書いてあります。「聖とする方も、聖とされる者たちも、みな一人の方から出ています。それゆえ、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず、こう言われます」。イエス様はイエス様を信じる私たちを兄弟と喜んで呼んでいらっしゃるわけです。それが私たちのアイデンティティなのです。いま皆さんが肉体的な条件でどういうことを比較されているか分かりません。また、家庭環境やいろいろな才能の面において比較されるところがあるかもしれません。それが皆さんのアイデンティティを決める要素ではありません。私たちのアイデンティティは、イエス・キリストにあって肉体的な条件、状況、環境などはアダムから受け継いだその霊的 DNA、滅びの相続を変えることができません。悪魔の誘惑に打ち勝ってキリストであることを証明されたイエス様、その

イエス・キリストを受け入れた瞬間、アダムの子孫でなくなり、イエス・キリストの兄弟に変えられることとなります。エペソ 2:19 にもこう書いてあります。「こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです」。これは励ますために良い言葉を選んで表現しているものではなくて事実なのです。いまここに来ている皆さん、特にレムナントの皆さん、自分のことを誰々の子どもとか、どこの学校の学生と思う以前に、自分は神の家族なのです。神の家族というのは、その裏を見ないとはいけません。もし神の家族でなければ悪魔の子どもであり、アダムの滅びの遺産を抱えているアダムの子孫のままなのです。その人がいま大統領であれ、IT 企業の社長であれ、その人はアダムの滅びの遺産を相続、受け継いで、そのやぐらを抱えて生きるものなのです。それがもう終わったんだよ。自分自身に対して否定的に思うような要素は何ひとつ残っていないすばらしい神の子供として変えられているんだと。悪魔はさまざまな自分、肉、この世のさまざまな要素を取り上げて、お前はそんな言える者なのかよとささやくかもしれません。それが悪魔の偽りなのです。人のことや自分の思いや悪魔のささやきなど、それ全部振り切って神の言葉だけ、イエス様だけを見上げて、自分のアイデンティティを回復するようにしましょう。そこからスタートなのです。エペソ 1:11、14 にもこう書いてあります。「またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです」。「聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です」。今までは自分がいくら頑張っても、いくら努力しても、アダムから受け継いだサタンの国を遺産として持って人生を生きていました。自分は気づいていないでしょうけれども。それが人生がなかなか理解できない疑問符だらけのものだったその理由なのです。自分が努力してもなぜ幸せになれないのか。自分の人生はなぜこんなにぐちゃぐちゃになるのか。なぜ思い通りに幸せになれないのか。この理由がそこにありました。私たちがいくら頑張っても悩んで努力しても変えられないアダムから受け継いでいる滅びの相続、滅びの DNA、滅びの遺産を抱えていたのでそうならざるをえませんでした。誰も何をしてもその DNA は変えられません。そのまま地獄行きなのです。なぜでしょうか。悪魔の誘惑に負けた結果なので、悪魔に勝てるものは存在しないから、唯一今日証明されました。アダムを倒してしまったその悪魔と見事に対峙して打ち勝たれたキリストであるイエス様、そのイエス様を信じる人は悪魔のことから自由になり、アダムの子孫としての遺産から自由になります。サタンの相続、アダムの DNA から自由になります。それ以外に方法はあります。神様を「アバ、父」と呼ぶことができる神の霊を受けている者になるのです。見た目が皆さんのうわべなどで騙されないように。Only イエスだけを見るように。自分のアイデンティティをそこで見つけるようにしていただきたいと思います。神の御国を相続しています。アダムから自分が望んでもいないのに、自動的に受けつぐようになったその滅びの遺産、相続というのではなくて、御国を相続とし、御座のすべての祝福を自分のものとし受け継ぐことになりました。今、貧乏なのに？そうです。病気を患っているのに、そうです。過去このような暗いものがあつたのに、そうです。関係ありません。イエス・キリストにあって本当に新しく神様が造られた自分と向き合うようにしましょう。そこから癒しが始まります。そこから勝利の人生をスタートします。それ抜きにして、皆さんがいくら努力してトップに立ったとしても、一瞬でバベル塔のように全部崩れてしまいます。それが人間であり人生というものなのです。愛情を幸せのバロメーターにしていれば、その愛情はいくらでもコロコロ変わるものなので、愛情によって人生を振り回されることとなります。私たちは愛情によって生きるではありません。イエス・キリストによって御国を相続として、御国を受け継ぐ者として生きます。サタンの誘惑に勝たれたイエス様を通して、私たちはアダムの子孫としての人生が終わった、新しい自分を見つけるそのアイデンティティの回復の祝福を味わうことができるわけです。理論ではなくて、勉強の知識ではなくて、自分自身を取り戻さないといけません。教会に 20 年、30 年通っていても、自分が誰なのかいまだに分かっていないのです。イエス・キリストがあなたのために血を流されて死なれたのに。ここが信仰のスタートです。神様は今日私たちにそれを語っていらっしゃるのです。あなたは私の愛する子。あなたが VIP なんだよ。なぜでしょうか。なぜそう言えるのでしょうか。まだ性格も直っていないのに。イエス・キリストの血が流れているからです。イエス・キリストを心に受け入れたので、アダムの子孫としての滅びの人生は終わり、その遺産は断ち切られて、その DNA は変えられました。神の家族。イエス様の兄弟。天の御国を受け継ぐ者。そのように幸いな者に変えられていることを忘れてはいけません。

それから、特にイエス様が 40 日間断食をして、サタンの誘惑に語れたということにどういう意味があるの

かを考えていきましょう。

2. 40 日間の断食後の試みへの勝利は、本格的に神の国のことをなさる門を開かれた宣言である。

2 番目です。イエス様が 40 日間の断食の後、試みに勝利したということは、これから本格的に神の国のことをなさる門を開かれたという宣言です。

これからはバンバンと神の国のことが現れることになるよということ。聖書でも 40 という数字はとても大切な意味あるものなのです。モーセが神様から十戒をいただくために山に登った時、40 日間断食をしました。それはものすごい転換点なのです。ものすごい転換点を迎えるときに、必ず 40 日の何かがあるわけ。イスラエルの民が 40 年間、荒野をさまよって、それが終わったときにカナンの征服が始まりました。その 40 年というのは、カナン征服のための期間、準備の期間なのです。今日のイエス様の 40 日間の断食、それからイエス様は外に出て、この地上で神の国のことがどんどんどんどん流れていくことになります。初代教会の人々はオリーブ山に 40 日間、イエス様がそこで集中して訓練をすることで、世界福音化のためのエルサレムから地の果てにまで神の国のことがなされることが本格的に始まることになりました。それがオリーブ山の 40 日間なのです。とてもとても大切なのです。

1) 悪霊を追い出され

イエス様が試みに遭われて勝利されて、その 40 日が終わると同時に、本格的に神の国のことをなさいました。つまり、これからその次の聖書にどんどん出てくる内容ですが、イエス様が行く所々で悪霊を追い出すことが見られることとなります。これが神の国のことが本格的に臨まれまして、現れると言う証拠なのです。

2) 病人を癒やされ

それから、さまざまな病気を患っている人々がイエス様のところに来て、その病人たちが癒される奇跡が現れることとなります。これが神の国のことが本格的に地上に現れたという証拠なのです。でもそれが目的ではありません。

3) 「イエス様はキリスト」の福音を宣べ伝え

それをもって目的は、イエス様はキリストなんだという福音を宣べ伝えることになりました。それが本格的なされることになりました。これが神の国のことがなされることなのです。

4) 真の救いの働きがなされ

(創世記 3:15、出エジプト 3:18、イザヤ 7:14 が成就され)

その福音が宣べ伝えられることで、真の救いの働きがなされます。これが神様の願いなのです。これが神の国のことなのです。悪霊は追い出され、暗闇の力砕かれて、病気が癒され、癒しの祝福とともにイエスはキリストですよといういのちの福音が宣べ伝えられることで、神の願いの中の願いであるたましいの救いの働きが為されることになりました。これが神の国のことがなされることなのです。つまり、女の子孫が生まれて、蛇の頭を踏み砕くと宣言されたその預言が成就されることが起きました。犠牲のいけにえとなって、身代わりとして人間のすべての罪と呪いを解決されると宣言されていその預言が成就されることとなります。それがたましいの救いの働きなのです。イザヤ 7:14、処女が身ごもって子どもを生むよ。その名をインマヌエルと言いなさい。神が人とともにおられる。神を離れた人々が神様と一緒にいる。その預言が成就されることが起きることになりました。それが神の国のことがなされることなのです。真の救いの働きがなされることなのです。それが本格的に行われていくよという宣言のようなものが試みに勝利されたということ。です。

5) 弟子を立てて育てる

それから、これからイエス様が天に昇られたあと、これから地球が終わるまでずっと続くように弟子を立てていくようになります。これが神の国のこと。いま短くまとめて申し上げましたが、このようなことが今まではダビデやヨセフやポツンポツンとたまにあつた、しかもそれも本質ではなかった。それがイ

エス・キリストのが来られて、悪魔の誘惑に打ち勝って、しかも40日間断食を通して、これからはサタンの国、暗闇のこの世に神の国が臨まれる働きが本格的になされるように、そういう意味がそこにはありました。

なので、信者はキリストにあってアダムの子孫ではなくて、イエス様の兄弟、神の家族として新しく生まれたという確信を持たないといけません。それを別の言葉で神の神殿となったと言われます。と同時に、信者はこの40日の祝福に預かることで、信者の人生の歩みにおいて神の国のことが本格的に現われるようになるということを感じて体験してしていかないといけません。つまり、暗闇の勢力が砕かれて神の国が臨まれるというのは征服なのです。カナンを征服するかのよう。初代教会がローマにまで福音をもって征服したように、つまり、この征服こそ福音宣教、伝道の働きなのです。これが信者のアイデンティティです。信者はアダムの子孫の人生が終わり、神の神殿と変えられているものです。だからこそ40日を通れば信者を通して、イエス様を通して現れていた神の国のことがそのまま信者を通して現れるようになります。征服の人生を進むようになり、伝道の門が開かれて、伝道に用いられることとなります。信者のアイデンティティはそういうものです。信者を通して具体的に神の国のことが現れるようになります。でも、多くの信者が自分のアイデンティティのことをそのように思っていない。だから条件に状況に環境に振り回されるわけです。人に振り回されるのです。もっと縮めて申し上げますと、悪魔の子、アダムの子孫から神の子、神の神殿に変えられて、私を通してこれから神の願いである神の国のことがなされ、御座の光が照らされる伝道の働きがなされるのです。これが信者のアイデンティティです。もしそれがなければ信者は存在する理由もありません。ご飯を食べるために、家族を養うために、成功を収めるために生きる存在ではありません。イエス様が40日間断食をして悪魔の試みに遭われて、それに見事に打ち勝ったということは、そこから私たち信者のアイデンティティが教えられるようになるわけです。なので、信者はこの40日というのが大切なのです。これからイエス様が復活なさったあと、40日間、オリーブ山でなさっていたことが、昔、オリーブ山で終わったわけではなくて、今も皆さんがアダムの子孫ではない、イエス様の兄弟、神の神殿であるというアイデンティティが明確になれば、その次は40日が残っているのです。40日オリーブ山で何をなさったのでしょうか。イエスはキリストなんだよ。だからすべてが終わったんだよ。イエス・キリストにあってあなたは変わったんだよ。古いものは過ぎ去り、すべてが新しくなっただけでなく、アダムの遺産が断ち切られて、その滅びの相続を受け継いでいたものが終わり、エペソ1:3にあるように、天にある霊的すべての祝福を頂いているものに変えられているということを確認するわけです。だから、これから神の国があなたを通して暗闇の世に現れるようになるよ。あなたの実力とあなたのどうのこうのと関係なく、イエス・キリストの兄弟となったのでイエスのいのちをもつようになったのでそうなんだよ、ということを確認することが40日なのです。だからイエス様はだれなのか、私は誰なんだろう。この世はどのようなところなのか。私は何のために生きるのか。どのように生きて行くべきなのかということメッセージを通して、みことばを通して黙想しながら整理して編集しないといけません。それを40日といいます。必ずその40日を通らないといけません。なぜなら祝福されたものだからです。その40日を通らないと前に進むことはなかなか難しいです。信者なのに混乱続きとなります。それが全部編集された時に、これが自分のものになります。それはあなたがたは知らなくていいよ。今までテーマにしていたもの、気になっていたもの、それは知らなくてもいいよ。Only 聖霊が臨まれると、エルサレムから地の果てまでイエスの証人となるよと。これに凝縮されることとなります。それを握ってマルコのタラップンで祈りに専念することになりました。それが無いのに祈りに専念ということは全部自己中心の祈りでしょう。そういう祈りは集中しなくてもいいのです。40日間を通して編集されて、三位一体の神様が御座の祝福を持ってともにおられる自分、だから伝道者、世界福音化の契約の主人公というやぐらが立つようにならないといけません。皆さんは今日一日も明日も伝道のために生かされているわけです。伝道のための旅程を歩むようになります。そのやぐらが立っているものは三位一体の神様が導かれる、誰も止められない、何者によっても止まらない御座の光が照らされる伝道の旅程を歩むようになります。それが7つの旅程なのです。そうすると、その伝道の答えを持って三位一体の神様が備えていらっしゃる伝道の答えが拡散されて、地の果てにまで拡散されていくための道しるべに従って歩いていくものなのです。そのためにそういうものが整理される40日間が大切なのです。そのように聖書に記されていて、その証拠が私たち示されているので、皆さん、自分のアイデンティティを回復して、自分の40日を設けましょう。いま皆さんが心の傷を抱えて、何かの苦難や試練をにあっているかもしれません。また失敗もあるかもしれ

れません。さまざまな葛藤を覚えているかもしれません。それらの内容がそのままの内容ではなくて、皆さんはキリスト・イエスによって新しく作り変えられた者なので、40日に入りなさいというサインなのです。全部が。そういったことを通して、自分はイエス様をどのように信じているのか真剣に問いかけるように。本当に葛藤でいいのか。試練が試練なのかと。なんで自分は試練の前でふらふら揺れているのか。試練が大きいから小さいからではなくて、イエス様を本当にキリストとして信じているのか、自分はだれなのか、この世はどういうところなのか、なぜ生きているのか、どのように生きて行くべきなのかに対して素直に真剣に問いかけるための材料なのです。その一つ一つがどうのこうのではありません。その40日を受けて、私の現場になされる神の国のこと、つまり征服の証拠を見て体験するようになります。つまり、皆さんの現場にいままでには見えなかった飢え渴いているたましい、備えられているたましい、弟子が起こされて見えてくるようになります。それが神の国のことがなされることです。なぜそれが動き見えてくるようになるのでしょうか。今までは暗闇に覆われて見えてこないのです。暗闇の力が砕かれることによって見えてきて動かされ、起こされることとなります。神の伝道なのです。皆さん頑張ってやるものではなくて。神の国のことが皆さんの職業にも勉強にもすべてのところに現れないといけません。どうすればいいのでしょうか。40日を受ければいいのです。自分の40日。サタンの試みに遭われたイエス様を通して改めて、信者である自分のアイデンティティを明確にして迷うことなく、また騙されることなく、神の国のことが現れるその勝利へと進んでいきたいと思えます。

全部まとめると40日は、イエス・キリストにあつて勝利を宣言することです。私の人生は終わったんだよ。すべての問題が終わった。私はアダムの子孫じゃないよ。私は神の子どもなんだ。私は伝道者だ。なぜ伝道者でしょうか。三位一体の神様が御座の祝福をもって一緒におられる存在だから、それを裏返しますと、伝道者、237を生かす、光を照らすことができる世界福音化の契約の主人公という意味なのです。三位一体の神様は今それをなしていらっしゃるわけですから。神様はほかのことはやってらっしゃいません。全部を人が救われることのために動かしていらっしゃるのです。その勝利の宣言です。

それからこれから私のどうのこうのと関係なく征服のわざが現れ、サタンの国が砕かれて、神の国が臨まれるようになるよという征服の宣言なのです。それが40日です。ぜひぜひその時を設けましょう。何かあつて設ける前に、メッセージを通して設けるのが一番いいし、そうでなければ40日になるようにさまざまなことを神様はなさいます。今現在、さまざまなことがある人は、40日に入りなさいというサインとして受け止めてください。誰が悪い、誰が正しいか、間違っているか、そういうレベルでは悪魔に勝てません。

(祈り)

恵み深い父なる神様。ありがとうございます。わざわざ断食をしながら40日間、悪魔の試みに遭われたイエス様。見事に打ち勝って勝利なさったイエス様を通して、信者の自分のアイデンティティ、勝利を宣言して征服を宣言するそのアイデンティティを回復して、そのための40日の主人公となるようにひとりひとりを祝福してください。必ずここにいるみなを通して、現場に神の神のことが現れて、飢え渴いているたましい、備えられているたましい、弟子との出会いの祝福の門が開かれることを信じます。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。